

平成 23 年度 活動 報告

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

1. 平成 23 年度活動の基本方針

個人の生活や企業活動という身近な生活・地域社会に対して、地球温暖化防止と持続可能な地域社会の構築をめざし、新エネルギーの技術開発、普及活動及び技術支援等、CO₂排出権取引等の温暖化防止メカニズムの研究および普及促進等の事業を行い、地域社会の経済振興と地球環境保全の推進に寄与することを方針とする。

その 1 地域に根ざした循環型の新エネルギーでCO₂抑制に寄与

その 2 市民、企業等の緑化推進・循環型社会構築等に関わる社会貢献活動の普及・促進

2. 平成 23 年度の事業実績概要

今期は、設立から 9 年目（平成 15 年 11 月 25 日設立）を迎え、昨年度に引き続き指定管理者プロジェクトにおいて長野市リサイクルプラザの指定管理者を行うとともに、昨年引き続き長野県から「家庭の省エネ“見える”化事業」を受託し、さらに「自然エネルギー信州ネット」の事務局支援を行うなど、事業の幅を広げることができた。関係機関等の外部協力者との連携をはじめ、事業や普及啓発活動において、臨機に対応を検討しながら、成果を残すことができた。

昨年に引き続き指定管理者として運営しているリサイクルプラザに 6 名の常勤スタッフを配置したほか、事務局アシスタントに 2 名の計 8 名の有給雇用職員（パート勤務含む）の体制とした。また、平成 22 年度から受託している長野県家庭の省エネ“見える化”事業を実施するため、委託仕様書に基づき省エネアドバイザー 4 名、省エネコーディネーター 1 名、支援スタッフ 1 名、事務局スタッフ 1 名を雇用した。さらに自然エネルギー信州ネットの事務局として、事務局スタッフ 1 名を雇用した。なお、省エネ“見える化”事業および自然エネルギー信州ネット事務局は平成 24 年度も継続し、7 名の雇用を継続する。

(参考 1 会員現況 平成 24 年 6 月 9 日現在)

1. 正会員（個人会員）	20 名
2. 正会員（法人会員）	10 社
3. 一般会員	2 名
4. 賛助会員	0 名
5. アドバイザー会員	8 名
合計	42 名（法人会員代表を含めて 66 名）

※正会員（個人会員） 1 名減

(参考 2 法人会員について)

- ①法人会員については、その法人に属する 5 名まで名簿に記載することができます。
- ②法人会員の議決権は 1 法人あたり、申し込み時に登録した代表者の 1 票とします。
- ③当 NPO 法人と業務委託等の契約を行う場合は、登録された会員名を基本とします。したがって、会社等の組織と契約を締結するには、法人会員であることを原則とします。

3. 活動の成果

今年度は、(1) 暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業、(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業、(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業、(4) 緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業 (5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー、シンポジウム、ワークショップの企画・運営、(6) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣、技術者派遣、(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業、(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政機関と協働で行う事業の8事業を行った。

それぞれの内容について、事業ごとに整理する。

(1) 温暖化防止対策に関する普及・啓発を図る事業

① イベントによる普及・啓発事業

『信州環境フェア 2011』、『ながの環境フェア 2011』などのイベントに、家庭の省エネ、自然エネルギー利用、県産材を利用した家づくり、ダンボール・木材によるクラフトなどの展示物や体験コーナーを出展して、地球温暖化防止対策に関する普及啓発活動を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2011/8/20 ～8/21	信州環境フェア2011	長野市ビッグハット	展示ブース来場者 249名
2011/9/11	ながの環境フェア2011	長野市清掃センター	全参加者 5,800名 ※指定管理者

(2) 地球温暖化防止に関する調査・研究事業

① 県産材利用プロジェクト

地域産の木材の活用を普及させるため、『信州環境フェア 2011』、『ながの環境フェア 2011』に展示ブースを出展し、様々な視点から作られたパネルの展示とパンフレットの配布を行った。

- 『省エネ住宅スタイル』: 省エネ住宅の提案から地域産木材を使いながらコストをおさえる工夫の提案
- 『信州ログスタイル』: 地域産木材を使ったログハウスの提案
- 『小さな住まいのすすめ』: リフォームと同金額で建設可能な小さくても高齢化社会に対応した地域産木材を使った生活空間の提案
- 『古民家木材でつくる家づくり』: 古民家木材の利用促進や古材利用の注意事項等

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2011/8/20 ～8/21	信州環境フェア2011	長野市ビッグハット	展示ブース 来場者 249名
2011/9/11	ながの環境フェア2011	長野市清掃センター	全参加者 5,800名 ※指定管理者

②市民活動支援プロジェクト（エコドライブプロジェクト）

車の保有台数が多い長野県における運輸部門のCO₂削減を目指し、エコカーの活動をきっかけに、「環境」と「技術」の両分野に係わる技術者の育成を、地域が支えながら実践していこうと、『エコマラソン 2011 長野』を開催した。今年度が第5回となる長野大会では、エムウェーブを会場として全国大会の燃費競技に準拠した燃費計測会を行った。24チームが参加し、最優秀チームの記録は 662.72km/l という好成績であった。また、「秋を家族で楽しむエコフェスタ」を同時開催し、エコドライブ体験教室、電気自動車乗車体験、ソーラーカーの試乗体験、秋のリサイクル大運動会、冬の省エネ講習会など、楽しみながらできる環境に関する普及啓発活動を行い、大勢の参加（1,750人）があった。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2011/9/17 ～9/18	エコマラソン 2011 長野 ※秋を家族で楽しむエコフェスタと同時開催	エムウェーブ	参加者 1,750 名

③ESD（持続可能な開発のための教育）プロジェクト

国立長野高専等と協働で行う事業であり、身近な里山の手入れなどの環境学習を行った。これらの活動を通じて、参加者が長野の森林を身近に感じ、そして後世に継承する大切な資源であることを実感するとともに、森林保全に向けた普及啓発を行った。本事業に関する講師派遣については、「(4) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営」、(5) 自然エネルギー・地球温暖化・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣」の項目でまとめている。

(3) 自然エネルギーの導入に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①自然エネルギー信州ネット運営支援

長野県と産学官民の連携による普及促進のための共同組織「自然エネルギー信州ネット」（平成23年7月31日設立）の事務局として、協議会の運営、会計などの運営支援を行った。自然エネルギー信州ネットでは、県内における自然エネルギーの普及を促進するために、これを推進していく地域の組織（地域協議会）づくりと、この地域協議会の活動を通じて地域における自然エネルギーの普及モデルを調査構築することで、地域分散型の自然エネルギー供給体制を検討した。

(4) 緑化推進に関する技術支援・コンサルティング、調査、研究事業

①NPO活動促進プロジェクト

地域や自然環境の保全などに取り組むNPO活動を支援するための助成制度に1件応募し、1件が採択された。また、平成22年度からの継続として1件の寄付（家電・住宅エコポイント）を受けている。全て平成22年度事業として実施した。なお、各事業の実施内容については、各事業の該当する項目で説明する。

●平成23年度 長野市地球温暖化対策活動支援金

申請先：長野市地球温暖化防止活動推進センター

テーマ：「省エネ・節電で信州の季節を楽しく快適にすごそう」

内 容：省エネに大きく寄与する注目すべきエネルギー消費は、盛夏のエアコンと冬季の暖房があげられる。このため、盛夏に突入する7月末と、冬季に向けての準備をはじめ9月中旬に省エネをテーマとしたイベントを開催する。

夏のイベントは、日中の温度が高い中心市街地（TOiGO 前広場）を会場として、打ち水や緑のカーテンなど都市部でも手軽にできて効果の高い省エネ活動を実施し、参加者や道行く人に省エネのPRと普及啓発を行う。また、冬に向けたイベントでは、冬の省エネをテーマとするほか、長野のエネルギー消費の特徴である運輸部門（家庭生活における自家用車の利用）の省エネを普及啓発するため、エコドライブもテーマに加える。そのため、エコドライブなどができるエムウェーブを会場とする。

助成額：200,000円

実施機関：平成23年7月26日～平成23年9月18日

●家電エコポイント事業における環境寄付、住宅エコポイント事業における環境寄付（平成22年度からの継続）

申請先：グリーン家電エコポイント事務局、住宅エコポイント事務局

内 容：エコポイントの活用による、普及促進事業について、事業に基づく環境寄付対象団体に応募し、採択となった。今後、配分される寄付金額に応じて、森づくりなどの活動を実施する。平成24年度も継続して開催予定。

助成額：家電エコポイント事業 451,320円（平成23年5月～平成24年2月入金分）

住宅エコポイント事業 36,346円（平成23年5月～平成24年2月入金分）

②技術支援業務

②-1 長野市緑と花いっぱいの会

長野市緑と花いっぱいの会は、会員（75名）の会費と（財）長野市都市緑化基金からの補助金を主な活動財源として、市民主体の緑化活動を展開するため、会員に対して花苗等の育成や技術向上のための講習会の開催などを実施している。平成22年度からその事務局を担当し、ながのウェルカムガーデンとともに都市緑化の実践活動を行っている団体の運営支援をしている。春と秋の活動で約5万株を配布し、長野市の緑育の重要な役割を担っている。

②-2 ながのウェルカムガーデン

篠ノ井駅東口前広場において、平成22年12月1日から平成23年12月31日までの間、コンテナガーデンによる都市緑化の普及啓発イベントの企画に参加した。会期は篠ノ井イヤーの時期に合わせ、多くの市民、来訪者に対して、花と緑でお出迎えするイメージアップとともに都市緑化の普及啓発を行った。当事業は長野県の「地域発 元気づくり支援金事業」により運営しており、申請団体である「ながのウェルカムガーデン実行委員会」の事務局を担当している。

②-3 里山エコミュージアムによる協働型森づくり

青木村において、十観山および周辺地域を対象として、地域住民、市民団体と専門家、学校等が連携し、自然環境に関する調査、研究を行いながら、環境保全活動の実践と普及啓発活動、環境教育支援等に取り組むとともに、地域住民と協力団体・専門家・地域外の人々の

連携と、活動による交流を実現し、地域住民が里山とのつながりやふれ合いを実感し、「絆（きずな）」を深めることをテーマとした環境イベント・ワークショップを開催した。当事業は長野県の「地域発 元気づくり支援金事業」を財源として運営しており、申請団体である「十観山の自然と親しむ会」の事務局を担当している。

②-4 戸隠エコ・ネットワークによる戸隠高原の環境保全

地元のみならず国内外から多くの観光利用者の来訪する戸隠高原の自然環境の保全と適正な利用をめざし、地域住民、市民団体と専門家、学校等が連携し、自然的資源・社会的資源に関する調査、研究を行いながら、環境保全活動の実践と普及啓発活動、環境教育支援等に取り組んだ。市民と協力団体・専門家・地域外の人々の連携と、活動による交流を実現し、持続的な協働モデルを検討した。当事業は長野県の「地域発 元気づくり支援金事業」により普及啓発のためのイベント開催、冊子作成などをしており、申請団体である「戸隠エコ・ネットワークの会」の事務局を担当している。

(5) 自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関するセミナー・シンポジウム・ワークショップの企画・運営

①家庭の省エネ“見える”化事業

平成 22 年度に長野県（環境部）からプロポーザルで特定され受託した業務を引き続き本年も受注して実施した。本業務では特に家庭における省エネを促進するために、省エネに関する知識と技能に優れた省エネアドバイザーを雇用し、県内各地で無料講習会(エコとく講習会)や無料訪問診断を開催した。

本業務の主たる目的は、診断を希望する家庭を訪問して、家電機器やガス機器、自動車の使用状況を確認し、ライフスタイルやライフステージに応じた省エネの手法や知識をアドバイスすることにより、家庭からの温室効果ガスの削減を図ることである。受託してから 1 年半で講習会 334 回、診断 574 回を実施し、約 15700 人に対して普及啓発を行った。

また、行政機関や市民団体などが開催する環境に関するイベント等にも参加し、家庭部門のエネルギー使用量、CO₂排出量の現状、省エネの必要性などの普及啓発も実施した。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	概要
2011/4/1 ～ 2012/3/25	エコとく講習会	県内全域	176 回 参加者 8,003 人
2011/4/1 ～ 2012/3/25	エコとく診断	県内全域	360 回 (360 世帯)
2011/4/1 ～ 2012/3/25	イベント等普及啓発	県内全域	13 回

②森の恵体験～森づくりと森のエネルギー利用促進

『薪づくり！森を育てよう！』イベント

健全な森を育てるには間伐したり外来種を駆除する必要がある。さらに伐採した樹木を燃

料にすることで、地球温暖化防止につながる木質バイオマス利用になる。このプロジェクトは薪ストーブユーザーが間伐などで森を育てながら薪をつくることで地域に根ざした再生可能エネルギー資源循環を実現するとりくみを促進した。今年度は「ながのウェルカムガーデン実行委員会」が長野県の「緑の募金公募事業交付金」を受け、その事務局として、地域住民を対象とした森林整備・森づくりによる自然環境プログラムを実施した。イベントでは、茶臼山公園内のニセアカシアなどを間伐し、これらを木質バイオマスエネルギー（薪）にし、活用することができた。また、同時に木工クラフト体験や自然観察会なども同時に実施し、子ども達への森づくりの普及啓発を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2011/12/4	「薪をつくろう！森を育てよう」イベント	長野市茶臼山	参加者 25 名

(6) 自然エネルギー・地球温暖化防止・緑化推進に関する講師派遣・技術者派遣

長野県、長野市などで開催された委員会や環境学習に講師を派遣し、活動支援を行った。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2011/10/02	2011 長水支部教研 第 20 分科会 環境問題と教育（事例発表）	長野県教育研究集 会 長水支部	講師 1 名
2011/11/06	2011 県教研 環境・公害と教育 （事例発表）	長野県教育研究集 会	講師 1 名
2012/2/22	第 1 回長野市環境審議会 地球温暖化対策専門部会（長野県委嘱）	長野県	委員 1 名

(7) 環境保全に関する施設・装置の企画・設計・施工・監理に関する事業

①雨水循環利用プロジェクト

環境フェアなどにおいて、雨水循環利用についての普及啓発活動を実施した。

②森のエネルギー推進プロジェクト

化石燃料に代わる木質系バイオマスであるペレットと、これを利用するストーブの普及による森と街を資源循環でつなぐエネルギーの地産地消を目指した普及啓発活動を行った。本年度はペレットストーブのリース事業として 2 件の設置を行い、初期投資の軽減を図ることで、ペレットストーブの普及を目指す取り組みのモデルとして行った。なお、本事業は「長野市自然エネルギー普及協議会」の事務局を担当し、モデル事業の検討等を行っている。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2011 年度	ペレットストーブ設置（リース型）	長野市内 2 箇所	
2011 年度	ペレット（長野森林組合産）販売	事務局	1,578 袋

(8) 公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う事業

指定管理者プロジェクト

本NPOの事業目的である「公共施設の維持・管理・運営を行政と協働で行う」を実践するため、施設の指定管理者として、公共施設の利用促進・利用者へのサービス向上を目指し、NPOと行政機関との協働で維持・管理・運営を行った。

①長野市リサイクルプラザ

リサイクルの情報発信地として、情報コーナー・レインボー広場などのごみの減量・再利用の情報、体験講座・教室などの提供、リサイクル広場での不用品の展示・提供、さらにリサイクルを推進する市民グループ（リサイクル連絡会）に活動の場を提供している。

■活動内容一覧

実施日時	事業内容	実施場所	摘要
2011/4/1 ～2012/3/31	施設利用者	長野市リサイクルプラザ	利用者総数 31,038名
2011/4/4 ～2012/3/31	ボランティア団体利用 (リサイクル連絡会 13グループ)	長野市リサイクルプラザ	利用者 1,381名
2011/4/4 ～2012/3/22	ゆめ工房 2 1 体験講座 (6グループで 40回開催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 433名
2011/6 2012/2	着物のリフォーム教室 (4週連続の日曜日)	長野市リサイクルプラザ	参加者 110名
2011/5, 7, 9, 11 2012/1, 3	リサイクル広場 (奇数月に 6回開催)	長野市リサイクルプラザ	利用者 3,505名
2010/4/10 ～2011/3/26	自主事業 27回開催 (出前講座 5回他)	長野市リサイクルプラザ	参加者 2,246名
2011/8/4 ～2011/8/6	『ダンボールの世界で遊ぼう!』	長野市リサイクルプラザ	参加者 4,000名
2012/2/12 ～2012/2/26	『廃材アート 2012』 不用品からのメッセージ	長野市リサイクルプラザ	参加者 586名
2011/4, 5, 6, 9, 10, 11 2012/3	フリーマーケット 7回開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 7,900名
2011/9/11	ながの環境フェア 2011 開催 (共催)	長野市リサイクルプラザ	参加者 5,800名

『ダンボールの世界で遊ぼう!』

資源や不用品に関心を持ち、資源の有効活用、ごみの減量化、リサイクルの促進につなげ、地球環境保全へと発展させていく目的でダンボールタウン制作委員会と共同で開催した。8月4日から6日まで開催し、延 4,000名の来館者となり、夏休み期間中の子どもたちと家族が楽しくエコ体験することができた。

『廃材アート 2012』 廃材を利用したごみ減量化（環境）へのメッセージ

不用品を活用したアート作品により、ごみの減量化やリサイクルの促進を目的とした『廃材アート 2011』を、廃材アート実行委員会と共同で開催した。2月12日から26日まで出展者20名、出展作品40点で開催し、延べ586名の見学者となった。

特に、2月19日（日）には廃材アートが体験できるワークショップ（飛び出す切絵）を開催し16名の参加があった。長野市リサイクルプラザでの開催のほか、長野市役所に会場を移動して展示し、不用品を使っの作品が新鮮との反響が多く好評であった。